

## 今後の方向性について

### 〈実証調査運行結果〉

- 利用者は3,070人で特に自動車運転免許及び自家用自動車の保有率が低い60歳以上の女性の利用が9割以上占め、移動手段を持たない人の利用増加が図られた。
- 1日平均の利用者数は25人、また定期的に利用する人もいて定着化が図られた。
- 運行便数は、計画5,904便に対し2,159便の運行で、運行割合は36.6%となり、地域公共交通確保維持改善事業による計画的な運行が、ある程度確保された。

### ○過去の实証調査結果

実施年度	実施期間	運行形態	利用者数	運行便数	1便平均利用者数	1便平均運行コスト
H25	2ヵ月	コミュニティバス	691人	844便	0.82人	4,679円
H25	2ヵ月	乗合タクシー	53人	49便	1.08人	3,616円
H26	4ヵ月	乗合タクシー	3,070人	2,159便	1.42人	1,314円

### 〈今後の方向性〉

- 平成25年度から実施してきた実証調査運行及び各種調査から、砂川市では、コミュニティバスのように限られた範囲を定時定路線で運行するより、市内全域をカバーする運行方法が適しており、効率性や持続性が高い**予約型乗合タクシー**の導入を進める。

1. 対象者及び運行地域
  - ・全市民を対象に、市内全域を運行する。
2. 事業主体及び運行主体
  - ・事業主体：砂川市地域公共交通会議
  - ・運行主体：競争性のある方法により事業を受託した事業者
3. 事業実施時期
  - ・協議、調整及び許可等が整った日以降の適切な日から
4. 運行内容
  - ・平成26年度に実施した実証調査運行の内容を基本として必要な改善を行う。